

## 目指す人間像について

### 【目指す人間像の設定に関するポイント】

教育は、一人ひとりが幸福な人生とより良い社会の創り手となる上での礎  
 これまでの「人が<sup>たから</sup>財産」は、普遍的な考え方として継承  
 教育を取り巻く環境を踏まえ、より具体的な人間像を設定  
 人間像は目指す姿とし、実現に向けて必要な成長のプロセスについては  
 【説明文】の中に記載

### 目指す人間像

### 共に認め合い <sup>いま</sup> 現在と未来を創る人

#### 【説明文】

##### 共に認め合い

限定する必要はないのではないか。

今後どのような時代になっても、多様な人々が共生し、一人ひとりの個性が輝くことが重要であり、そのためにはまず一人ひとりが自分自身の良いところや可能性に気づき、認めることからはじまります。自分を認めることを通じ、多様な人々の存在に気づき、一人ひとりが**共に認め合い、必要なときにつながり**、支え合うことができる関係を築くことが大切です。

ここで言う「多様な人々」とは、自分の考えや独自のアイデアを持つ人々に限られず、性別、年齢、国籍や民族、疾病や障害の有無、文化、生活習慣の違い等のある人々を含みます。

##### <sup>いま</sup> 現在と未来を創る

目指す人間像に到達するためには、自己の確立が必要ではないか。

これからの予測困難な時代を迎えるに当たっては、**自ら学びに向かい、広く**想像し、深く思考して主体的に行動するとともに、多様な人々が積極的にかかわり、高め合いながら多様なアイデアを融合し、新たな価値を生み出すことが重要です。こうしたことを通じ、誰もが心豊かに生き生きと活躍し続けられる**現在を創るとともに**、人間ならではの感性を働かせ、**先端技術を駆使しながら**持続可能な**未来を創る**ことが大切です。

人間の感性だけでなく、新しい道具をうまく使いこなす能力も重要

ここで言う「新たな価値」とは、グローバルな規模でのイノベーションのような大規模なものに限られず、地域課題や身近な生活上の課題を自分なりに解決し、自他の人生や生活を豊かなものにしていくという様々な工夫などを含みます。